



医学・看護学教育センターFD研修会

# 「国家試験を卒前教育で 生かすには？」



東京医科大学 副学長・医学科長／医学教育学分野 主任教授

みとま ひろし

## 三苦 博 氏

1985年東京医歯大卒。89年同大学院医学研究科修了後、同大神経内科に入局。三菱化学生命科学研究  
所研究員を経て、2006年より東京医大医学教育学分  
野兼任教授。16年同大医学教育推進センター教授、  
17年同センターセンター長。18年より同大医学教育  
学分野主任教授。21年より現職。専門は神経生理学。  
博士（医学）。医師国家試験対策の病態生理の視点  
からの教材を作成し、長年国家試験の指導に携わる。

日時：令和5年9月14日（木） 18:00～19:30

場所：本学臨床講義棟 臨床講義室 3

主催：医学・看護学教育センター

### 抄録

国家試験は、専門的な細かい出題等、その量が多く、さらに、競争試験であるため、受験には大きな負担を強いていました。また、学生も安直な対策を年々好むようになっていきます。これらの複合的な要因で、医師国家試験は卒前教育に大きな弊害をもたらしています。この現状を改善するため、本年度より出題内容のレベル設定が導入され、さらに近いうちのCBT化も予定されています。この一連の改編の過程をたどり、これを踏まえて、医師国家試験の準備を「知識領域の統合的な整理」として活用できるかの考察を、先生方と行いたいと思います。